

令和3年度（2021年度）採用分若手研究者海外挑戦プログラム

申請書提出にあたっての事務担当者用チェック要領

申請書類の提出は電子申請システムでの提出（送信）のみとしています。

申請書類を取りまとめ本会に提出（送信）いただくにあたり、例年、申請資格不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、いま一度、精査していただくようお願いします。

申請書類の提出（送信）方法等、特に注意していただきたい事柄を以下に掲げますので、提出前に確認してください。

申請者が「電子申請システム」内で一度「提出」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人に「電子申請システム」上の情報を訂正させ、その後再度「提出」の処理をさせてください。

なお、一度取りまとめて本会に提出（送信）いただいた後は、追加することは認められませんので、御注意ください。申請書提出後の申請書の修正・差し替えは本会では一切受理しませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ず御指導ください。

1. 申請書類の提出方法

申請書類は電子申請システムにより提出いただく必要があります。

- ・申請書類の構成は下表のとおりです。
- ・申請書類全てが揃わなければ、申請することはできません。
- ・申請リストの確定を行うことにより、本会へ申請書類が提出（送信）されます。

※郵送等による紙媒体の申請書類の提出は不要です。

- ・本会への申請書類の提出（送信）期限は次のとおりです。

第1回提出（送信）期限：2020年9月16日（水）17：00（日本時間）【厳守】

第2回提出（送信）期限：2021年4月16日（金）17：00（日本時間）【厳守】

<表：申請書類の構成及び作成方法>

	内容	作成方法	作成者
申請書情報	学歴・研究課題名等を記載	電子申請システムにおいてWeb入力	申請者
申請内容ファイル	現在までの研究状況・派遣先における研究計画・研究業績等を記載	本プログラムウェブサイトから取得したWord等で作成後、電子申請システムへ登録	申請者
評価書	申請者の研究内容に精通している研究者1名による評価	電子申請システムにおいてWeb入力 ※ID・パスワードは、申請者が作成依頼処理をすることで、電子申請システムより作成者へEmailにより通知	評価書作成者

2. 申請書のチェック項目について

1) 申請資格等を満たしていることの確認について

- ① 採用年度の4月1日現在、我が国の大学院博士後期課程に在籍する者（申請時は見込みでも可）

- ② 申請時かつ採用時において日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
- ③ 連続して3か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者
(申請時において既に研究のために海外に滞在中で、連続して3か月以上海外に滞在する予定の者も申請できません。)

※ 外国人の申請について

日本に永住を許可された外国人は申請可能です。在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。申請に当たっては永住を許可されていることの証明書類の添付は不要ですが、採用内定後の派遣開始手続時に本会への提出が必要となるため、申請書を本会に提出する前に在留資格を確認してください。

※ 令和3年度(2021年度)採用分(第1回)補欠者について

補欠の状態を保持したまま改めて第2回募集に申請することは差し支えありません。

2) 「⑧大学院博士課程」と「⑨学歴」の記載内容について

「⑧大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑨学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴との間に、矛盾がないかを確認してください。

3) 「⑬大学院博士後期課程における研究指導者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

4) 「⑭海外における受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

【申請書情報のチェック箇所】

申請書情報(電子申請システム上で入力)部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っています。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報のチェックは以下の項目について行ってください(該当箇所は、次ページの図をご参照ください)。

A: 申請者氏名

登録名が表示されているか確認してください。(「電子申請システムによる申請手続の概要(申請機関担当者用)」P. 11参照) 戸籍名は機関担当者が登録し、登録名及びローマ字表記は申請者が電子申請システムに入力します。

B: 「大学院博士後期課程における研究指導者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているか確認してください。

申請書1～2ページの「申請書情報」は、「電子申請システム」より作成してください。

令和3年度採用分 若手研究者海外挑戦プログラム 申請書 No. 第 版

(申請書情報)

受付番号				
審査区分	① 書面合議・面接審査区分			
	② 書面審査区分			
	③ 小区分名			
	④ 小区分コード	⑤ 専門分野		
⑥ 研究課題名	(和文)			
	(英文)			

1. 申請者情報等 (所属機関コード)

氏名	姓	(フリガナ)	(姓)	(名)
	名	(フリガナ)	(姓)	(名)
⑧ 大学院 博士課程 (在籍または 在籍予定)	入学年月	(西暦) 年 月 日	入・進学/入・進学予定	
	大学院 大学名			
⑨ 学歴 (学部、修士、 博士)	研究科名			
	課程種別			
⑩ 研究・職歴等				
⑪ 派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (二日)			
⑫ 派遣 国				
⑬ 大学院博士 後期課程 における 研究指導者	氏名	(フリガナ)	(姓)	(名)
	科研究 研究者番号	(漢字またはローマ字)	(姓)	(名)
	所属機関名			
	部 局 名	部局 種別		
	職 名			

申請書情報名

- 1 -

⑭ 海外における 受入研究者	氏名	(ファミリーネーム) (First Name) (Middle Name) (英文)
	職	海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字/英) (姓) (名)
	受入機関名	(和語) 大学 / 国公立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関 (英文)
		(英文)
		(和文)
受入部署名	(和文)	
⑮ 評価書作成者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)
	所属機関名	
	部 局 名	
⑯ 研究活動に おける主な 使用言語	職 名	
⑰ 非外国での 研究遂行能力 について (語学能力の 確認)		
⑱ 海外における 研究・留学歴 (1年以上海外 で研究に従 事した経験が ある場合に 記入してくだ さい。語学研修な ど研究以外の 海外滞在は命 みません。該当 がない場合は 「該当なし」と 記入してくだ さい。)	訪問先:	
	国名:	
	期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日	
	訪問先:	
国名:		
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		
訪問先:		
国名:		
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		

申請書情報名

- 2 -

【申請内容ファイルについて】

PDF 変換後、文字化けや図表について申請者が確認するよう御指導ください。事務担当者の方における確認は不要です。